

工藤篤子メールマガジン 164号 2010.10.23

●素晴らしいのち



お元気でいらっしゃいますか？

10月17日、大阪のぞみ教会にて、スイス在住のリューティスト、今村泰典さんと、ジョイント・コンサートをさせていただきました。

今村さんに初めてお会いしたのは、5年前、ドイツのゲーゼケで行われた「第22回ヨーロッパ・キリスト者の集い」でした。そこで今村さんのリュート演奏を聴き、何と賛美にふさわしい音色なのだろうと感動しました。

その今村さんから、昨年、詩篇103篇に作曲された楽譜が送られてきました。今村さんの処女作で、「工藤篤子姉に捧げる」と書かれてあったので、個人的に大変感激しましたが、何よりも、曲の素晴らしさに感動しました。

今年に入ってジョイント・コンサートのお話しをいただいた時には、二つ返事でお受けしました。

しかしながら、今回ほど練習に練習を積み重ねて臨んだコンサートは近年なかったように思います。その理由のひとつは、今回、使用されたテオルボという楽器が、調号（何調かを表すために、楽譜の最初に付けられるシャープやフラット）が2つ以上の調を弾くことが困難であるため、私の声には容易ではない調性のものがあったからです。それに加えて、音域が広い曲が多かったので、特に、低音、中音域で、どのように声をムラなく響かせ

られるかが、私にとって大きな課題でした。また、高音も、柔らかなコットンの中に金粉がきらりきらりと輝くようなテオルボの、美しく繊細な響きと溶け合う声質を探さねばなりませんでした。

けれども、練習を通して賛美曲への思いがどんどん深まるに従って、歌唱法も、主が導いてくださるのを感じるようになりました。何よりも、賛美の歌詞が、私の内側にくさびのように打ちこまれていき、練習のひとつときが、格別な主との交わりの時となっていったのです。

信仰によって 義とされている
私たちは 主イエスにより 神との平和を得ている
主イエスによりて この恵みに 信仰によって導かれた
私たちは 神の栄光を望んで 大いに喜んでいる

そればかりではなく 患難さえも喜ぼう
それは患難が 忍耐を生み出し
忍耐が品性を 品性が希望を生み出す
その希望は失望に 終わることはない
私たちに神の愛 注がれているから



（「患難を喜ぼう」歌詞＊ローマ人への手紙 5章 1～5節より、作曲＊今村泰典）

折しも、コンサートの3日前に、お世話になっている知人にとっても悲しい事が起こりました。深い悲しみの中におられる知人が、この苦しみを通して忍耐を学ばれ、忍耐が練られた人格を、その人格から決して失望することのない希望が生み出されることを確信し、特別にその方のための祈りを込めて、この歌を歌わせていただきました。

コンサートは、偶然にも何人かの方が、「かぐわしい花園のようだった」と評されました。キリストがご自身の香りを漂わせてくださったのだと思います。キリストの香り、それは、永遠のいのちへといざなう香りです。個人的には、今回のコンサートは、「音楽を通してみことばを宣べ伝えるコンサート」とさせていただけたと思っています。コンサートには、音楽家、イエス様をまだ救い主として受け入れておられない方が多く来られました。その方々が、どうか、この「素晴らしいいのち」を受け取ってくださいますように！



素晴らしいいのち イエスのいのち
私たちの罪 あがなう愛よ
イエスはいのち イエスは愛
永遠なる 神の愛
イエスをご自分を 差し出して
私をあがない 十字架にかかり
素晴らしいいのち イエスのいのち
私たちの罪 あがなう愛よ

君は知ってるかい 本当の友
君のいのちを守る 真実の友
イエスは友 イエスは愛
心の友 愛の人
私たちの罪 あがなうイエスよ
変わらぬ愛で 導く神よ
君は知ってるかい 本当の友
君のいのちを守る 真実の友

（「素晴らしいいのち」 作詞・作曲＊今村泰典）

写真：コンサート後、自称「ヨーロッパ組」の皆さんと（今村さんご夫妻、フランスでリュートを学んだN君、イタリアでギターを学んだY君）

●10月28日(木)、ミャンマーの孤児院「ハウス・オブ・ホープ」(希望の家)のためのチャリティー・コンサートのためにお祈りください。チラシ→ http://atsukokudomm.com/pdf/2010_10_28.PDF

希望の家は今年で7年目を迎えています。けれども、今も自分たちの家がなく、子供とスタッフ20人は借家に住んでいます。実は、数年前土地を購入しました。設計図も作って、期待が膨んでゆきました。M宣教師も建築資金を呼びかけ、捧げられた献金で、フェンスを廻らし、トイレ一つを建てることができました。しかしそこで資金は尽き、工事はストップしてしまいました。超インフレによって、建築資材が高騰する中で、小さな孤児院が自分たちの家を建てる道は見えなくなりました。時々与えられる資金で少しずつ工事を進めるのは適さないと判断し、建築実現の時を主に委ねて待ちました。

そして、今回のAKMMのチャリティー・コンサートを機に、M宣教師は、いよいよ建築を開始しようとしています。子供とスタッフ合わせて約40人が生活できる、2階建て家屋の建築予算は約300万円。AKMMは、今回のチャリティー・コンサートを通して、出来る限り多くの献金をお捧げしたいと願っています。皆さんに、ハウス・オブ・ホープの子供たち、スタッフのためのお祈りとともに、孤児院建設にご協力いただけますなら感謝です。

・チケットご希望の方は、AKMM事務局までご連絡ください。Tel.06-6226-1334
(詳細は、添付のチラシをご参照ください)

・また、孤児院建設のために、献金をお捧げくださる方は、「ハウスオブホープ支援」とご記入の上、AKMMの口座にお振り込みください。

「工藤篤子音楽ミニストリーズ」郵便振替口座：00900-7-317989

●10月、11月の教会コンサートのためにお祈りください。

10月31日(日) 宝塚栄光教会 工藤篤子ソプラノコンサート 15:00~16:30

<http://www.takara-eiko.com/info/index.html>

11月7日(日) 静岡梅屋町キリスト教会50周年記念コンサート 14:00~15:00

<http://www.geocities.jp/umeyachochurch/>

11月14日(日) 久留米キリスト教会 秋のチャペルコンサート 14:00~16:00

<http://www.kurume-church.jp/kudo.htm>

11月21日(日) イムマヌエル板橋キリスト教会 あたたかな教会からの贈り物コンサート
13:30~15:00 http://www.geocities.jp/immanuel_itabashi/

皆さまの上に、
主の溢れるご愛と祝福を
お祈りしています。

Atsuko Kudo

